

さがちほうきしょうだい しよくぶつ きせつかんそくようひょうほん
佐賀地方気象台（植物季節観測用標本）

○ 佐賀市にある佐賀地方気象台には、桜の開花宣言など、季節の訪れを知らせるための『植物季節観測用標本』として、いくつかの植物が植えてあります。



桜（ソメイヨシノ）

○ 桜の開花やイチヨウの紅葉などが確認されると、テレビや新聞、佐賀地方気象台のホームページで情報が提供されます。



イチヨウ

れいわ ねん がつ
令和3年1月からの
せいぶつ きせつかんそくたいしやう しゆもく げんしやう
生物季節観測対象の種目・現象

- うめの開花
- さくらの開花・満開
- あじさいの開花
- いちやうの黄葉・落葉
- かえでの紅葉・落葉
- すすきの開花

※ 昭和28年（1953年）から全国の気象台・測候所58地点で、植物34種目、動物23種目を対象に、開花や初鳴き等の観測が行われてきました。

本観測は、季節の遅れ進み、気候の違い・変化を的確に捉えることを目的とされていますが、近年は気象台・測候所周辺の生物の生態環境が変化しており、植物季節観測においては適切な場所に標本木を確保することが難しくなっています。また、動物季節観測においては対象を見つけることが困難となっています。

このため、気候の長期変化（地球温暖化等）及び一年を通じた季節変化やその遅れ進みを全国的に把握することに適した代表的な種目・現象（6種目9現象）のみが継続され、その他は廃止されました。

【参考】佐賀地方気象台HP

<https://www.jma-net.go.jp/saga/index.html>